

事業名 国産パプリカを使った、発色が良く、
栄養素を保持したペースト商品の開発及び販売

連携体 中小企業者：(株)オーピーシートレーディング(菜缶詰、果実缶詰、農産物保存食料品加工業)
農林漁業者：(株)Tedy(野菜作農業)
連携参加者：京成ホテル(株)

サポート機関等 (財)茨城県中小企業振興公社、(株)常陽銀行、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)Tedyは、新温室を建設しパプリカの通年栽培に取り組み始めた。収穫量が飛躍的に増加する一方、外観(色や形)の悪い規格外パプリカも増え、味覚に変わりがないにもかかわらず、安価での販売を余儀なくされる商品が増加するという新たな経営課題が発生していた。
そこで、野菜加工設備・技術に優れ、ISO9001を取得し、また、有機JAS認定工場でもある(株)オーピーシートレーディングと連携し、「パプリカのペースト加工商品の開発」という高付加価値化を計画することとなった。

新温室でのパプリカ栽培



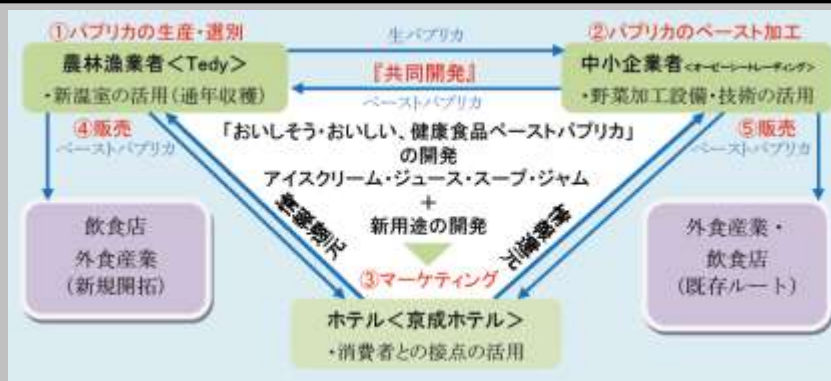
ペーストパプリカ

◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

パプリカには、「外観(見た目でも楽しめる鮮やかな色)」「食味(野菜とは思えない甘さ)」「栄養価(豊富なビタミン)」という特徴があり、『健康ニーズ』に対応できる商品である。
また、国内におけるパプリカ市場は、輸入品が9割を占めており、JGAP認証・エコファーマー認定を取得している(株)Tedyのパプリカは、『食の安全ニーズ』にも対応できる商品である。



連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高 1.7億円(平成25年度)
- ◆「外観(色)」の悪いB級品・C級品の有効活用

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):株式会社Tedy(茨城県水戸市小吹町236-1)
- ◆電話番号:029-350-1747
- ◆FAX番号:029-243-9724
- ◆E-mail:info@tedy.jp
- ◆ホームページ:http://www.tedy.jp/

地域 茨城県 古河市 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 3 - 20 - 002

事業名

中食市場向けに鮮度保持システムを導入した
新品種レタスの開発及び販売

連携体

中小企業者：(有)クリアライズ(野菜作・果樹作サービス業)

農林漁業者：稲垣景、浅川宏(野菜作農業)

連携参加者：(株)ロックフィールド、シンジェンタシード(株)、日本金属化学(株)
ヨシハラ農事(株)、片倉チッカリン(株)、(独)日本原子力研究開発機構

サポート機関等

(財)茨城県中小企業振興公社、(株)常陽銀行、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(有)クリアライズは農産物の企画・生産管理・物流・販売等を行う中で、サラダ等の加工・販売業者である(株)ロックフィールドに対して、更なる新商品の開発を計画。以前より取引のあった生産者と当事業について協力、連携を開始した。

更に、新商品の高付加価値化のため、今まであいまいであった鮮度を数値化し明示していく仕組みを実用化するため、(独)日本原子力研究開発機構や日本金属化学(株)と連携することとなった。

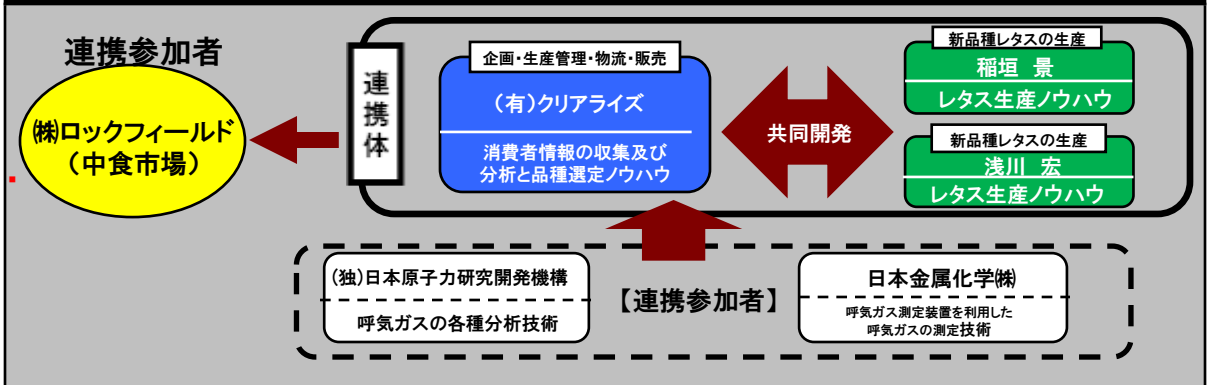


◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

年々拡大を続ける中食市場のうちサラダ等の加工・販売業者に対して、見た目が鮮やかで、よりシャキシャキとした食感等を持ったヨーロッパ系新品種レタスを開発し販売する仕組みを構築するとともに、鮮度を明確な指標として明示していく仕組みの実用化と高鮮度物流システムの構築を行う。



連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高……………7,026万円(平成25年度)
- ◆本連携に伴う新規雇用創出者数…15名
(平成25年度・連携体全体)
- ◆新品種レタスの安定的生産及び供給ルートの確立

代表企業等の連絡先

- ◆代表者：有限会社クリアライズ(茨城県古河市下辺見2987)
- ◆電話番号：0280-30-8070
- ◆FAX番号：0280-30-8087
- ◆ホームページ：<http://clearrise.co.jp/index.html>